

# 両生類



## (1) レッドリスト種（両生類）の概要

レッドリスト種に選定した両生類は、6種でした。表 4-7 にカテゴリごとの種数・概要を示します。

レッドリスト種に選定した種は、山麓部・平野部の水田や河川等の水辺に生息する種に多い傾向がみられました。

表 4-7 両生類レッドリスト種の概要

レッドリストカテゴリー	種数	選定した種の概要
絶滅 (EX)	0	・絶滅に該当する種は選定されませんでした。
野生絶滅 (EW)	0	・野生絶滅に該当する種は選定されませんでした。
絶滅危惧 I 類 (CR+EN)	0	・絶滅危惧 I 類に該当する種は選定されませんでした。
絶滅危惧 II 類 (VU)	1	・山麓部・平野部の水田や河川・水辺に生息するツチガエルを選定しました。
準絶滅危惧 (NT)	5	・高山帯の池塘に生息するクロサンショウウオや山麓部・平野部の水田に生息するトノサマガエル、トウキョウダルマガエル等を選定しました。
情報不足 (DD)	0	・情報不足に該当する種は選定されませんでした。

## (2) 危惧される減少要因

レッドリスト種の減少要因としては、水田の圃場整備等の土地改良や森林伐採、河川開発等による生息環境の減少や悪化があります。

また、準絶滅危惧に選定されているトノサマガエルとトウキョウダルマガエルについては、2種の間で交雑が行われ、雑種が増加しつつある問題が起きています。

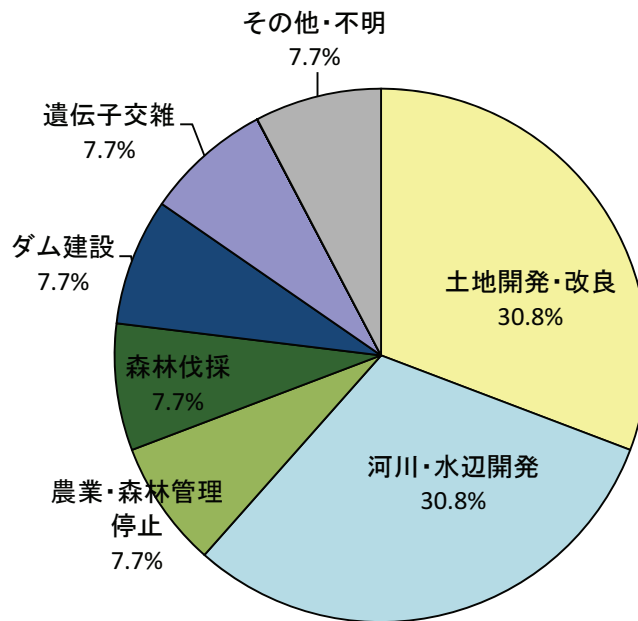


図 4-5 両生類レッドリスト種の減少要因の割合

**ツチガエル** (カエル目 アカガエル科)

*Rana rugosa*



安曇野市：絶滅危惧Ⅱ類	長野県：絶滅危惧Ⅱ類	VU
VU		環境省：—

●**特徴**：全長 3～6cm。体は灰褐色で、表面にはたくさんのいぼがあります。キューキューキューと低い声で鳴きます。昆虫類（特にアリの仲間）をよく食べます。

●**生息環境**：山麓部・平野部から山地帯の河川や池沼、水田、湿地などに生息し、池沼や岸辺のよどみなどを産卵場所にします。

●**国内の分布**：北海道から九州に分布します。

●**市内の分布**：市内の山麓部にある水田や小河川などに生息しています。

●**減少要因**：水田放棄や圃場整備などによる乾田化、小河川のコンクリート化などによる生息地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.	4, 15, 18, 19, 27, 52, 63
----------	---------------------------

**トノサマガエル** (カエル目 アカガエル科)

*Rana nigromaculata*



安曇野市：準絶滅危惧	長野県：—	—
NT		環境省：準絶滅危惧
		NT

●**特徴**：全長 5～9cm。雄の体は、山吹色や緑で、背中の中央に黄色や緑色の縦線が 1 本あります。雌は雄に比べて体の色は薄いです。グルルグルルググレレレッと連続して鳴きます。昆虫類やクモ類を食べます。

●**生息環境**：山麓部・平野部の池沼や水田に生息し、池沼や水田を産卵場所にします。

●**国内の分布**：関東平野から仙台平野を除く本州と四国、九州に分布します。

●**市内の分布**：市内の山麓部・平野部を中心とした水田に生息しています。

●**減少要因**：開発などによる山麓部・平野部の水田の減少や用水路のコンクリート化などによる生息地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.	4, 19, 52, 59, 135, 136, 146
----------	------------------------------

**トウキョウダルマガエル** (カエル目 アカガエル科)

*Rana porosa porosa*



安曇野市：準絶滅危惧	長野県：—	—
NT		環境省：準絶滅危惧
		NT

●**特徴**：全長 4～9cm。体の色は緑色や灰褐色、茶褐色と様々です。トノサマガエルによく似ていますが、背中の斑点がトノサマガエルと違って、多くは独立しています。グゲゲゲグゲグゲと連動して鳴きます。昆虫類やクモ類などを食べます。

●**生息環境**：山麓部・平野部の水田や池沼に生息します。産卵場所も、水田や池沼です。

●**国内の分布**：本州に分布します。関東平野と仙台平野、長野県と新潟県の一部ではトノサマガエルと分布域が重なります。

●**市内の分布**：豊科、堀金、明科の水田を中心に生息しています。

●**減少要因**：平野部の水田の開発や用水路のコンクリート化などによる生息地の悪化や減少が考えられます。また最近では、トノサマガエルとの間にできた雑種の個体が増加していることが懸念されます。

参考文献 No.	15, 27, 47, 59, 66, 146
----------	-------------------------

### クロサンショウウオ (サンショウウオ目 サンショウウオ科)

*Hynobius nigrescens*



生息環境



●特徴：全長 12～19cm。背中は黒褐色や暗褐色で、腹部は灰色か暗黄褐色です。成体は夜行性です。卵のうは白色で、アケビの実のような形をしています。

●生息環境：成体は、山麓部・平野部から高山帯の池沼の周辺に生息し、池沼などの止水域を産卵場所としています。

●国内の分布：本州に分布します。

●市内の分布：北アルプスの常念岳から大滝山の稜線付近にある池で卵塊や幼生が確認されています。

●減少要因：現在生息が確認されている高山帯の池沼とその周辺が破壊される可能性は少ないものの、温暖化により、生息地が減少する可能性があります。

参考文献 No. 4, 143, 144

安曇野市：準絶滅危惧	長野県：準絶滅危惧	NT
NT	環境省：準絶滅危惧	NT

### ヒダサンショウウオ (サンショウウオ目 サンショウウオ科)

*Hynobius kimurae*



生息環境



●特徴：全長 10～18cm。体は黒っぽい紫褐色で、黄色や黄土色の斑点があります。卵のうはバナナのような形をしています。

●生息環境：成体は、山地帯の森林に生息し、溪流の石の下側を産卵場所にします。

●国内の分布：本州の関東地方以西に分布します。

●市内の分布：黒沢川流域をはじめとした、山地帯の溪流沿いの森林に生息しています。

●減少要因：森林伐採やダム建設などによる生息地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No. 52

安曇野市：準絶滅危惧	長野県：準絶滅危惧	NT
NT	環境省：準絶滅危惧	NT

### アカハライモリ (サンショウウオ目 イモリ科)

*Cynops pyrrogaster*



生息環境



●特徴：全長 7～14cm。背中は黒く、腹部には赤い模様があります。卵は、たくさんの卵が包まれる卵のうではなく、1つずつ産みます。

●生息環境：山麓部・平野部から山地帯の河川、池沼、水田に生息し、流れがゆるい場所を好みます。生息地と同様に河川や池沼、水田を産卵場所とし、水草に卵を産みつけます。

●国内の分布：本州から九州に分布します。

●市内の分布：豊科、三郷、明科の小河川やため池に生息しています。

●減少要因：河川開発などによる生息地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No. 4, 15, 19, 47, 52, 59, 63

安曇野市：準絶滅危惧	長野県：—	—
NT	環境省：準絶滅危惧	NT